

51

セキュリティで保護されたページも正しく解析しよう

初級

中級

上級

スグ効く

ワザ効く

https://のページはひと工夫が必要

14ページの基本3の手順でGoogle Analyticsのタグを設定すると、「https://～」ではじまるセキュリティで保護されたページにアクセスしたとき、図のような「セキュリティ情報」画面が毎回表示されてしまいます。これは、セキュリティで保護されたページのURLアドレスが「http://」ではなく、「https://」ではじまるために起こる現象です。

ネットショップや金融のサービス申し込みなど、個人情報を登録してもらう画面は、セキュリティで保護されているケースがほとんどです。不要なメッセージのせいで不安になった訪問者が買い物途中でやめてしまつては、せっかくのアクセス解析も本末転倒です。

その場合は、ページに貼り付けるトラッキングコードにひと工夫加えます。このとき、厳密にはセキュリティで保護されていないページにはこの記述は不要ですが、混乱やミスを防ぐためにすべてのページに同じコードを貼り付けるようにしましょう。また、「UA-xxxxxx-x」のアカウント情報の部分を間違えて変更しないように注意しましょう。

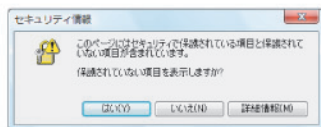
用語

アクセス解析……………P.198

アドレス……………P.198

● セキュリティが設定されたページの場合

セキュリティで保護されたページは表示するたびに下の画面が表示される



注意 新しいga.jsのトラッキングコードを使用している場合は、コードを変更する必要があります。詳細は以下のヘルプを参照してください
<http://www.google.com/support/googleanalytics/bin/answer.py?hl=jp&answer=55483>

● 保護されたページに貼り付けるトラッキングコード

```
<script src="https://ssl.google-analytics.com/urchin.js"
type="text/javascript">
</script>
<script type="text/javascript">
_uacct = "UA-xxxxxx-x";
urchinTracker();
</script>
```

SSLに対応したURLが指定される

全ページにSSLに対応したトラッキングコードを貼り付ける